

大震災から、2年半…

今日であの大震災から2年半経つが、2020東京オリンピック決定のニュースに大震災の現状のニュースはどこかへ押しやられがち。

昨日、東京オリンピック決定のニュースと共に報道されていた「原発捜査 検察、津波予見困難と結論」のニュースに、心を留めた方はどれぐらいいるだろうか。

国会の事故調査委員会で「福島原発事故は人災だ」と指摘しているが、検察は刑事責任を問うには「具体的な予見可能性が必要」で、あの大震災の発生は「専門家からの想定を大きく超え、全く想定されていなかった」ので、防災計画不備の責任は問えないということのよう。

想定外の大震災という理由で起訴困難ということであれば、津波からの避難指示の遅れで子どもや家族を亡くした遺族の訴訟案件にも恐らく影響が及ぶだろう。

では、遺族の苦悩は、どこにぶつければいいのか……。

また、今朝、「仮設入居率 なお9割～移転先整備進まず～」の報道があったが、プレハブ仮設入居の目安は法的には2年だが4年に延長されているが、こう災害公営住宅の整備が遅れていては更に延長されるだろうと思う。

(ちなみに、阪神淡路大震災では、仮設住宅から全ての被災者が退去できたのは、震災5年後とか。)

災害公営住宅整備の遅れは、被災地はリアス式海岸地域が多くて住宅建設の平地が少ないことや被災地域はあまりにも広域にわたり建設業者の人手不足が大きな要因と想像できる。

2020東京オリンピックの経済効果は3兆円と云われているが、各オリンピック関連施設建設が急ピッチで進み、被災地への人手不足、資材不足、資材・人件費等の高騰で復興が遅れるのではないかと案じる。

ただ、オリンピック東京誘致の成功と震災復興を考える一つの光明を見つけるとしたら、東京誘致はオールジャパン、チームジャパンで取り組んだことが誘致成功の大きな要因と云われているが、なら被災地の復興にも、より以上にオールジャパン、チームジャパンの気概で取り組んで欲しい。

また、IOC総会でのパラリンピック選手のプレゼンテーションが多くの共感を呼んでいるが、彼女は被災地：気仙沼出身であり、あの笑顔、あの表情、あの語りが、被災された方々のたくましさに繋がることを願う。